

高松市生涯学習センター 生涯学習カレッジ（社会生活に役立つ講座）

「家庭における教育講座

～いま親に求められているもの、これからの親のあり方～

を開催しました

平成23年3月11日から18日まで、宝山秀逸さんを講師にお迎えし、開催しました。

1回目は「子どもを伸ばすしつけと教育について」という内容で、講義がありました。昔とは社会環境が大きく異なる現代、子育てにはいろいろな心配事があります。厳しい世の中だからこそ、自分で生き抜く力をつけてやるのが親の大事な勤めであるとお話がありました。



2回目は「親子のつながりの大切さ」をテーマとし、親と子どものあるべき関係について、切り込んだお話が展開されました。「子どもは親を見ています。子どもをしつけ、世の中に送り出す、それが親としての最大の義務でしょう」と宝山さんはおっしゃいます。しつけは反復と継続が重要です。小さなことだけれど、親が繰り返し教えているうちに子どもが覚え、それが親子の絆につながっていくということでした。



3回目は「子どもの自立心を育てよう！」という題で、子どもの自主性を大切に、その子の才能を見つけ伸ばすことの大切さをお話しいただきました。知識だけでなく知恵を身につけさせること、知恵から応用力が育つと、アドバイスがありました。

講座全体を通して、宝山さんご自身が、アメリカ駐在中にお子さんを現地の学校へ通わせた経験から、貴重なお話をたくさん聞くことができました。

子育て中のお母さん方をはじめ、受講生の皆さんは熱心に話を聞かれていました。